

教育方針：生き生き輝く学校

令和5年9月27日(水)

門前西小学校 NO.7

輪島市門前町道下1の123

TEL 0768-43-1804

FAX 0768-43-1813

E-Mail westes12@po.city.wajima.ishikawa.jp



西小だより10月号

暑さもようやく落ちつき、どこからか聞こえる虫の音や鳥の軽い鳴き声に、かわり行く季節を感じます。

さて、学校では順調に2学期がスタートし、子どもたちの授業中の発言も一味、深みを増したように感じます。また、9月中旬より、運動会に向けた活動が始まっています。今年は、親子種目を1種目増、PTA役員考案の2種目を加え、盛りだくさんの内容となっています。今年度の運動会のコンセプトは、「**みんなで体を動かし、いい汗を流し楽しい運動会にしよう**」です。これをもとに、高学年でスローガンを決めました。あとは、当日は晴れて！と願うのみです。7日(土)は、朝6:00にPTA会長とグラウンドか体育館で行うか決め、6:10頃、tetoruで配信します。

「門前西小」流、海洋教育2学期編スタート(9月) 10月・11月…とさらに続きます

図書委員会より、門前を題とした川柳の募集(例 夕陽がきれい)



みんなも一生懸命に聴いて考えています

高学年：麦屋節保存会の方による詩の謂れや節を教わりました(海の文化)



あま採りサザエごはん、地物の素材入りめった汁(海の食)

【裏面あり】

保護者様へ 9月1日（金）のお礼と11月27日（月）のお知らせ

9月1日（金）門前町内小中学校、門前高校及び保育所の一斉避難訓練

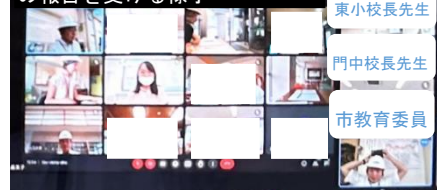
【児童クラブから門前東小
に避難した児童】

平日の放課後に地震・津波発生により避難所に避難する訓練の参加にご協力していただき、ありがとうございました。シェイクアウトや、お子様が避難所を確認できたこと、避難所まで実際に歩いてみたことに大きな成果を感じました。特に、新聞記事にありましたが「下級生をまとめて逃げるのは難しい」と話したことはステキです。前日、学校では「下級生をお願いします」と校長より上級生に頼みました。その目的に応じてふり返っています。共助の考えが含まれていて、成果があったと感じました。



また、各避難所に職員がいて、端末を用いて安否確認をしていました。門前町内の児童生徒全員の安否を確認し、市教育委員会に報告する訓練も兼ねていました。今後、もし大地震が発生した場合、保護者様という時はteturuで安否確認、お子様だけの避難所に逃げての安否確認は端末を用いることで、より速く確認ができると手ごたえを感じました。

校長と市教委は、各避難所から状況の報告を受ける様子



【校長室のミートの様子（白塗りは他校の教員等）】

11月27日（月）海洋教育の中間発表（5限）と教育懇話会（6限）

誠に急なお話して申し訳ありませんが、11月27日の6限に教育長との教育懇話会を設定しました。内容は、「児童の学力」と「今後の学校のあり方」についてです。それに合わせ、お子様たちは地域発の海洋関係のことを調べているので、5限に中間発表会を行います。ご都合がつく保護者様には、ご参観と懇話会への参加をお願いします。（この日は5限までです。詳細は後日、お知らせします。）

10月の予定（6・16・26・23日はノーゲームデー）

2	月	衣替え（～7日）
4	水	鼓笛街頭練習（諸岡公民館前広場）9：25頃
5	木	運動会予行練習
6	金	低学年・読み聞かせ
7	土	門前西小運動会9：00～（屋内外の判断は6：00）
10	火	振替休業日
11	水	サツマイモ掘り（8:45～10:15）予備日13日
12	木	スクールカウンセラー来校（午前）
13	金	後期児童委員会6限
15	日	輪島市総合防災訓練により登校日8:00～11:00
16	月	金大防災アドバイザーとともに安全マップ（午前）
19	木	3～6年伝統文化教室①開講式13:45
20	金	振替休業日
23	月	集金日 1・2年門前東小共同調理場見学
25	水	1・2年、3・4年秋の遠足
26	木	スクールカウンセラー来校（午前）
31	火	教育委員会訪問のため5限まで

11月の主な予定

1日（水）	いしかわ教育の日
3限	マラソン記録会 予備日2日
5限	授業参観・避難訓練 引き渡し訓練
～7日（火）	（3～5日除）学校公開週間
8日（水）	1・2年黒島町探検（午前）
9日（木）～10日（金）	5・6年修学旅行
10日（月）	グランドゴルフ交流（午前） （荒天時はニュースポーツ） 児童委員会6限
17日（金）	給食後下校（研修会のため）
22日（水）	集金日
27日（月）	生活・総合中間発表会5限 教育懇話会6限（児童は5限まで）

昨年度の強風で、運動会の入場門が破損しました。今年は、門ではなく旗を立てることにしました。赤組・白組の高学年が、それぞれの旗のデザインをかきました。自分たちがかいた旗というだけで、主体的に関わった気になります。ここで伝えたいことは「門でなければならない」という「～でなければならない」という縛られた思いや考え方から解放させることの大切さです。この解放こそ、これからの多様性に富んだ社会を生き抜く力のもとになると考えています。大袈裟かも。

校長